



令和
2年度
県予算

未来技術で とちぎを進化 2020予算



今年度の予算の主な特徴は、令和元年東日本台風による被害からの復旧・復興に向けての積極的な取り組みなどの三つのポイントに分けられます。今回は、その中から、新規事業を中心に主要な事業をご紹介します。

POINT1

令和元年東日本台風による被害からの復旧・復興

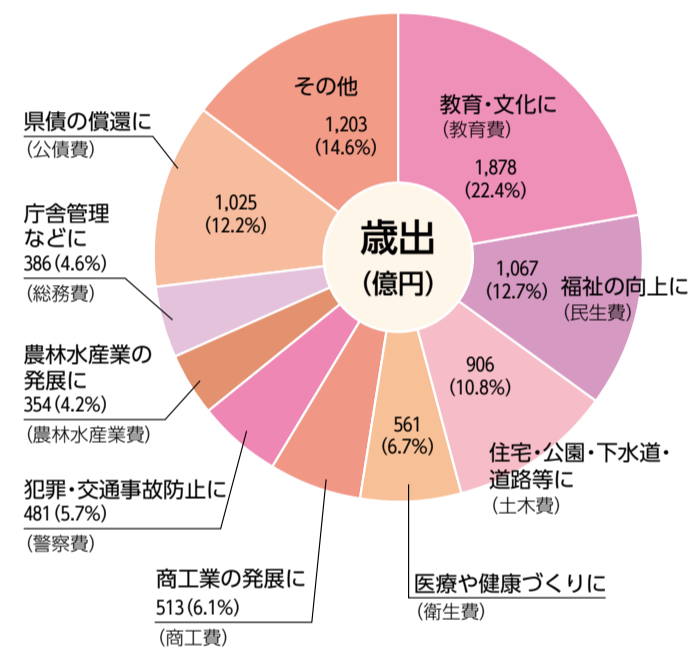
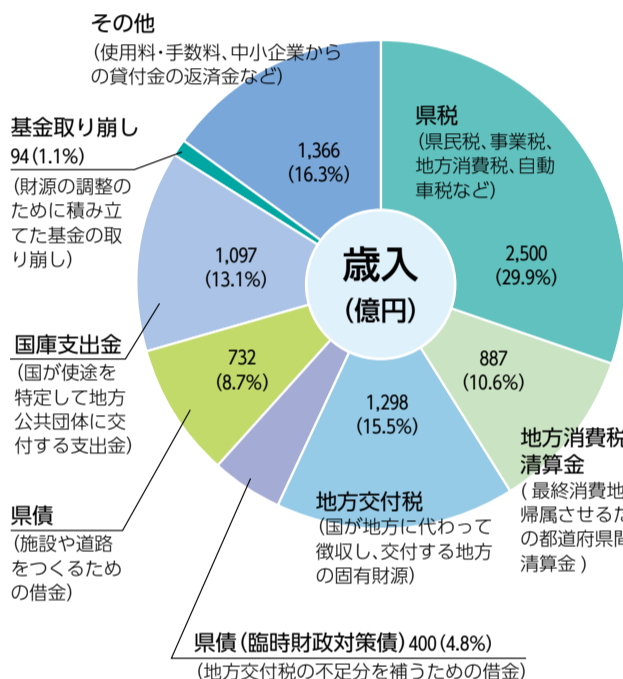
POINT2

令和2年度政策経営基本方針に基づく重点事項

POINT3

「とちぎ元気発信プラン」の総仕上げと「とちぎ創生15戦略(第2期)」の推進

令和2年度一般会計当初予算額 8,373億7,000万円(前年度比4.0%増)



一世帯あたりの支出内訳	合計
※令和2年1月1日現在の世帯数より算出	1,052,105円
教育・文化に	236,015円
福祉の向上・医療や健康づくりに	204,544円
住宅・公園・下水道・道路等に	113,843円
商工業の発展に	64,417円
犯罪・交通事故の防止に	60,389円
農林水産業の発展に	44,437円
県債の償還に	128,740円
その他	199,720円

POINT1

令和元年東日本台風による被害からの復旧・復興

災害復旧事業費

147億8,200万円

令和元年東日本台風により大きな被害を受けた林道、農業用施設、道路、河川、砂防施設などの復旧を行います。



中小企業等グループ施設等復旧事業費

75億6,600万円

中小企業等で構成するグループの復興事業計画に基づき、事業者が行う施設・設備の復旧を支援します。

産業活性化金融対策費(令和元年台風第19号緊急対策資金)

35億7,200万円
直接または間接的に被害を受けた中小企業の資金繰りを支援します(融資枠:100億円)。

災害対策強化事業費

3,700万円

地域防災計画の改定を進めるほか、適切な避難行動に関する啓発リーフレットの配布などを行います。

POINT2

令和2年度政策経営基本方針に基づく重点事項

1 とちぎの未来を担う『ひと』づくり

とちぎUIターン・定住促進・関係人口創出事業費

7,800万円

東京圏在住の若年層に向けたデジタル広告の発信や、県内の大学生に向けたとちぎの魅力発信に取り組みます。



外国人材活用強化・多文化共生事業費

4,200万円

外国人労働者の生活・就業環境を整備すること等により、外国人材の活用および多文化共生地域づくりを推進します。

NEW 農業大学校「いちご学科」創設事業費

700万円

「いちご王国・栃木」をリードする人材の育成のため、「いちご学科」の令和3年度創設に向けた準備を進めます。



2 未来技術等を活用した新たな取り組みの推進

奥日光EV導入促進事業費

1億300万円

二次交通の利便性向上のため、日光地区においてMaaSの活用による環境に配慮した交通モデルの構築の検討などを行います。



NEW とちぎデジタル戦略推進事業費

1,800万円
デジタル化を推進するため、戦略の策定やデジタルマーケティングアドバイザー等を新たに配置します。

NEW 未来技術社会実装・SDGs推進事業費

900万円
未来技術の社会実装を進めるほか、SDGs達成に向けて取り組む企業等の登録制度を創設します。